

nismo

News Flash!

## スカイラインGT-R(R32、R33、R34)の レストアビジネス、「NISMO restored car」を開始



ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル株式会社(本社:横浜市鶴見区 社長:片桐隆夫、以下ニスモ)は、ニスモならではの高い付加価値と品質、基準に基づいて性能を担保した、スカイラインGT-Rのレストアを開始します。

ニスモは、2017年11月より、製造廃止となっていた純正部品の復刻販売を行う「NISMOヘリテージ」を日産自動車との共同プロジェクトとして実施してきました。その活動を進める中で、ニスモのスカイラインGT-Rでのレース活動を支えたクルマ作りのノウハウ、そして、ニスモ直営店で提供してきたメンテナンスやチューニングの知見や技術を土台とした「ニスモが考えるレストア車」を新たに定義し、「NISMO restored car」の名称で立ち上げました。ニスモ直営店にてコンプリートカー販売及び持込車への施工を実施します。

日産自動車の直系であることを活かし、「性能の可視化」と「新車レベルの性能に近づける」を掲げる、ニスモが提案する新たなレストア施工、「NISMO restored car」の基準は、世界的に新たな価値を獲得し始めたスカイラインGT-Rをはじめとする日本車をより良いコンディションで後世へ残すことにもつながる活動と考えています。

また、この新たな活動をより多くの方々にご理解頂くことを目的に、株式会社BH AUCTION(本社:東京都千代田区 代表:武井真司)にて、BNR32をベースに製作されたNISMO restored carのプロト車の紹介、展示を2021年春より実施します。

### ●ニスモが定義するレストア施工…「施工結果としての性能の可視化」

視覚的に綺麗にするレストアという一般的な考え方／手法を超え、全ての領域で「性能も可視化した形でレストアする」という新たな概念で行います。特にボディのレストアは基準値に基づいたニスモにしか出来ないレベルの施工です。各パーツについても日産自動車です定められた点検や測定に準じ、すべてを数値化して性能を確認します。また、車両1台を構成する全ての部品について、継続、交換(部品番号含む)、点検、再塗装などの履歴を記録し、提示します。



1. ボディ: 日産自動車の実績もベースにしたニスモ基準で「ホワイトボディねじり剛性測定」と「ボディ寸法測定」を含めた修復を行い、劣化値修正がされた良好なバランスを維持した総合的な性能を確認します。劣化したシーリングの再塗装付後、車体全てを希望色で再塗装します。(オプション: 電着塗装・メルシート交換)



2. エンジン: 全分解でのオーバーホールとバランス取り後、ベンチ台上での性能測定とラッピングを行い、新車時レベルの性能が出ることを確認します。(オプション: NISMOチューニング仕様へアップデート)  
駆動系 - 作動確認・点検・分解洗浄・オーバーホール・消耗劣化部品の交換・塗装  
制動系 - (オプション: 希望の部位構成部品の追加交換)
3. 内装: クリーニング  
(オプション: NISSAN GT-R(R35)の表皮を使い、インテリアをトータルコーディネートした張替え。プラスチック部位の塗装リペア)  
電装系 - 導通作動確認・点検・消耗劣化部品の交換
4. 完成検査: シャンダイナモメータでの性能測定後、ニスモのテストドライバーまたはプロドライバーによるチェック走行で、性能の最終確認を行います。



本件に関する詳細やご注意はこちら([https://www.nismo.co.jp/products/restored\\_car/](https://www.nismo.co.jp/products/restored_car/))をご参照ください。

以上